いろは通信 vol.04

こんにちは。すっかり暖かくなりましたね！
お日様がニコニコしていると、つい外で走り回りたくなってしまいます。
さて、今回もいろはではさまざまな情報をお伝えしていけたらと思います。
楽しんで読んでいただけたらうれしいです。

🐶フィラリアのあれこれ🦟

春→予防の季節→フィラリア予防、、、の時期になりました。
最近はこの考えがすっかり定着してきました。そのおかげで、20年ほど前まではフィラリアで若くして命を落としてしまうコも多くいたようですが、今はその数もかなり減りました。といっても0ゼロではなく、誤った知識により感染してしまうコや、命に関わってしまうコもいるのが現状です。
そこで今回はフィラリア症についての正しい知識をお伝えするために、特集をくんでみました。

①フィラリア症って、どんな病気？？
②実は多くの犬がフィラリアに毎年感染している？！
③猫も感染するの？？

この3本立てでお送りします！

今回は①について、、、

みなさんもご存知の通り、フィラリアは蚊🦟から感染する寄生虫です。
そのサイクルは下の図のような感じ。

フィラリア自身は簡単に表すと、
赤ちゃん→子供→大人へと成長していきますが、
赤ちゃんから子供へ成長する時は必ず蚊の中にいなくてはいけません。そのため、舐めたり噛んだりなどで、犬から犬へと直接感染することはありません。
感染犬に住み着いた子供フィラリアは犬の血液を心臓に向かって進みながら大人フィラリアになり、心臓に約5年住み続けます。
その間に新たな赤ちゃんフィラリアを産んで、それが血液を流れ、それを蚊が吸って蚊の体内で子供フィラリアとなり、また他の犬へうつっていく、、となる訳です。
心臓に住み着いた大人フィラリアを退治する薬や取り除く手術もありますが、どちらもリスクが大きい上、一度ダメージを受けた心臓が戻ることは難しく、大人フィラリアをうまく取り除けたとしても、心臓の薬を手放せず、結果寿命も縮んでしまうことが多いです。
そのため、いかに大人フィラリアにさせないようにするかが、大切になります。
フィラリア症の怖さ、ご理解いただけましたか？

②実は多くの犬が感染してる？！　　次回のいろは通信にて！

保育園訪問

３月に3カ所の保育園を訪問させていただき、1-６歳の子供達にお話をしてきました。
子供達の集中力を考え、30分程のお話をするのですが、どの保育園のコ達もよく話を聞き、元気な声を聞かせてくれます！
訪問3度目となる園では、1.2回目の犬猫のお話の内容をもとに〇×クイズを行なってみましたが、1年以上前に話した犬との挨拶の仕方、触る時の注意点などをこと細かに覚えてくれていたコもいて、驚いたと同時に嬉しかったです。
また、今回は捨て犬についての話を紙芝居にしてお話ししました。
これからも、動物について知ってもらい、命の大切さについて考えてもらえるようなお話をしていけたらと思います。

おすすめの本

生き物大好きな筆者が、様々な生き物の持ち方について、写真とともに分かりやすく説明してくれます。
カマキリ、トンボ、カメムシ、などなど、自分にも相手にもダメージを与えないようにするにはどうしたらいいのか、、、ちょっと小バカにしたような文章から、生き物への深い愛を感じられます。
生き物達が活発になるこの季節、ぜひぜひ手にとってみてください！

フォトギャラリー

前回のジュニアクラスに参加してくれたワンコたちです
上手に挨拶できました(^.^)